

見どころ案内

アシズリノギク、サツマノギク、ナカガワノギク、アワコガネギク

(キク科)

遅咲きの野生菊を見ることができます。アワコガネギク以外は白色の花をつけます。

バラ (バラ科)

バラ園ではモダンローズ、オールドローズや世界の野生種などをもう少しの期間は観賞することができます。お早めにご覧ください。

熱帯
スイレン
温室
休館中

バオバブ (アオイ科)

オーストラリアから11,000 km旅して来た日本一のバオバブも葉が展開しています。11月3日(土)には愛称の命名式もあります。他にはバナナやコーヒーの実もついています。コンニャクは大きな葉を展開しています。

ガーデニングコンテスト作品展、ハンギングバスケット作品展 (4日(日)まで)

応募されたコンテナガーデンやハンギングの作品やハンギングバスケットマスターの作成したハンギングバスケットをご覧になることができます。

ツメレンゲ

(ベンケイソウ科)

ロゼットの様子がお仏様の台座に似ていること、葉の先端が尖っていることからこの名前が付けました。

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 1F(9/22~12/25)
- 特別企画展「バオバブ展」
- ◇ 展示温室
- 秋の洋ラン展(10/27~11/4)
- 寒蘭展(11/10~11/15)
- ◇ 屋外展示場
- キク展(10/27~11/11)

コスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草で、日本には明治初期に本格的に広まりました。咲き誇っていますが、11月4日(日)には摘み取りイベントがあります。

モミジバフウ

(マンサク科)

江戸時代に日本に渡来し、紅葉が綺麗なため並木などに利用されています。日当たりの良い場所から綺麗に色づいて来ています。芝生広場奥のニシキギなども色づき始めています。カエデ園の紅葉はもう少し後になります。

サネカズラ、ワタ、ガマズミ

花の進化園では色々な植物の実を見ることができます。

特別企画展 バオバブ展

大温室にオーストラリアから導入した日本最大のバオバブが植栽されているところから、世界各地のバオバブをパネルや標本などで紹介します。また、植栽した時の状態を映像でも紹介しています。

